

平成27年度 学校図書館利用計画

高崎市立乗附小学校

教科 学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
国語	1						○のりものをしようかいしよう		○たのしく読んで、本をしようかいしよう				
	2		○図書館へ行こう 図書館でさがそう						○「お話びじゅつかん」をつくらう	「おもちゃ大会」をひらこう			
	3	○図書館へいこう 本を調べよう ○生き物のとくちょうをくらべて書こう							○「おすすめ図書カード」を活用しよう		町の行事について調べよう		
	4	○図書館へいこう 分類をもとに本を見つけよう						○「不思議図かん」を作らう ○「読書発表会」をしよう					
	5				○新聞記事を書いて、言葉と事実について考えよう		○「意見こうかん会」をしよう	○世界遺産白神山からの提言		○「図書すいせん会」を開こう	○まんがに対する自分の考えを書こう ○資料をくふうして効果的に発表しよう		
	6							○意見を出し合おう 未来の自動車		○意見文を書こう ○大切な本をしようかいしよう	興味ある人物をしようかいしよう		
社会	3							○農家の仕事・工場の仕事			○古い道具と昔のくらし		
	4	○火事からくらしを守る	○じけんやじこからくらしを守る		○水はどこから				○わたしたちの県	○特色ある地域と人々のくらし			
	5		○低い土地のくらし	○あたたかい土地のくらし			○米づくりのさかんな地域 ○水産業のさかんな地域	○工業生産を支える ○これからの工業生産とわたしたち			○環境を守るわたしたち		
	6	○縄文のむらから古墳のくにへ	○天皇中心の国づくり	○武士の世の中へ ○今に伝わる室町文化	○3人の武将と天下統一	○江戸幕府と政治の安定	○明治維新の国づくりを進めた人々 ○世界に歩み出した日本	○長く続いた戦争と人々のくらし ○新しい日本、平和な日本へ		○わたしたちのくらしと日本国憲法	○日本とつながりの深い国々		
理科	3	○種をまこう	○チョウを育てよう	○こん虫を調べよう								○つくって遊ぼう	
	4				○夏の星		○月や星の動き				○冬の星		
	5								○人のたんじょう				
図工	1		○動物のからだのはたらき		○生き物のくらしと環境							○人と環境	
	2						○みてみておはなし						
	3							○見て見ておはなし					
	4						○大すきなものがたり			○物語の世界			
	5									○物語から広がる世界			
	6								○想像のつばさを広げて				
生活	1			○きれいにさいてね			○いきものなかよし						
	2		○大きなあれわたしの野さい		○生きものなかよし大作せん			○うごろうごくわたしのおもちや					
総合	3	○乗附の自然と親しもう				○外国について調べよう							
	4	○ともに生きる(高齢者の福祉)				○ともに生きる(障害をもつ人の福祉)							
	5	○生き生き自然体験				○生き生き群馬				○受け継ごうわたしたちの乗附小			
	6	○割り上げよう!ほくわたしたちの学校				○鎌倉について調べよう							
道徳			○とべないホテル(4年)				○銀のしよく台(6年)	○花さき山(4年)		○しあわせの王子(3年)	○東京大空襲の中で(6年)	○まんがりに命を(6年)	
	1		○図書室の使い方				○本をたくさんよもう						
学活	2		○図書室の使い方を考えよう				○本をたくさん読もう						
	3		○図書室を利用しよう										
	4		○図書室を利用しよう				○図書室をもっと利用しよう						
	5		○図書室を効果的に利用しよう				○よい本をたくさん読もう						
6		○図書室の利用				○よい本をたくさん読もう							
ボラ	○読み聞かせ ←											→	
委員会	○前期組織づくり						○後期組織づくり	○図書集会					

第1学年 年間指導計画（単元名、身につけさせたい力、主な使用図書、課題・改善策等）

月	9月	10月	12月
単元名	(生活) いきものとなかよし	(国語) のりものをしょうかいしよう	(国語) 「おはなしどうぶつえん」をつくって、 本をしょうかいしよう
身につけさせたい力	<課題の設定> 知りたいことを決める。 <見通しを持つ> 必要な資料を図書の先生から教えてもらおう。	<課題の解決> 課題にあった情報を見つけ、そのまま書き抜く。	<考える> 自分の考えや感想をまとめる。 <表現する> 相手にわかるように発表する。
主な使用図書	「がっこうのまわりのいきもの」 (あかね書房) 「どうぶつの赤ちゃん」 (ポプラ社) 「よみきかせ いきものしゃしんえほん」 (岩崎書店)	「大きなずかん はたらくじどう車」 (学研) 「くらべてみよう！はたらくじどう車」 (金の星社)	「としょかんライオン」 (岩崎書店) 「ぞうくんのさんぽ」 (福音館書店) 「ひとまねこざる」 (岩波書店)
課題・改善策	見たい本が書架の高いところにあり自分で取れない子どもがいたので、本の配置を改善する。	本によっては必要な情報を書き抜きにくいものがあるので、対応を考えておく必要がある。	必要な本をなかなか見つけられない子どもがいたので、動物が出てくる絵本の数を増やす。または、資料の与え方を工夫する。

第2学年 年間指導計画（単元名、身につけさせたい力、主な使用図書、課題・改善策等）

月	6月	7月	10月	12月	1月
単元名	(国語) 図書館へ行こう 図書館で本をさがそう	(生活) 生きものなかよし大作 せん	(生活) うごくうごくわたしの おもちゃ	(国語) 「お話しびじゅつかん」 をつくろう	(国語) 「おもちゃ大会」をひら こう
身につけさせたい力	<見通しを持つ> 必要な資料を図書の先 生から教えてもらう。	<課題の設定> 知りたいことを決める。 <見通しを持つ> 必要な資料を図書の先 生から教えてもらう。	<課題の解決> 課題にあった情報を見 つけ、そのまま書き抜 く。	<表現する> 相手にわかるように発 表する。	<振り返る> 調べ方や伝え方につい て評価する。
主な使用図書	図書室の本	「科学のアルバム」 (あかね書房) 「がっこうのまわりの いきもの」 (学研教育出版)	「やさしい工作」 (小峰書店) 「たのしい行事と工作」 (小峰書店)	「十二支のはじまり」 (教育画劇) 「ガラスめだまとぎん のつのヤギ」 (福音館書店)	「やさしい工作」 (小峰書店) 「たのしい行事と工作」 (小峰書店)
課題・改善策		教室にコーナーなど を作って身近に資料を 置いておくとよかった。	子どもが同じ資料に 集まりがちだったので、 コピー等を用意してお くとよかった。	廊下やプレイルーム 等に掲示すると、学年で 学習の広がりがあった と思う。	伝え方に重きをおいて しまった。調べ方の幅は 広がらなかった。

第3学年 年間指導計画（単元名、身につけさせたい力、主な使用図書、課題・改善策等）

月	5月	5月	9～11月	10月	12月
単元名	(国語) 図書館へ行こう 本を調べよう	(国語) 生き物のとくちょうを くらべて書こう	(総合) 外国について調べよう	(国語) くらしと絵文字	(国語) 「おすすめ図書カード」 を活用しよう
身につけさせたい力	・図書館のリテラシー (活用能力) 目次・索引の使い方	<見通しを持つ> 図書の先生の協力を得 て、情報を収集するた めの資料リストをつ くる。 <課題の解決> 知りたいことを簡条書 きで抜き出す。 <表現する> 相手にわかりやすく伝 えるために、いろい ろな表現方法(絵や文) を使い発表する。	<見通しを持つ> 調べたいことを決め、図 書の先生の協力を得 て必要な本を見つ ける。 <考える> 自分の考えとその理由 について2つ～3つ くらの文でまとめる。	<課題の設定> 調べたいことを決める。 <表現する> 相手にわかりやすく伝 えるために、いろい ろな表現方法(絵や文) を使い発表する。 <振り返る> 目的に応じて図や写真 などを選び、わかりや すく発表することが できたか振り返る。	<考える> 自分の考えとその理由 について2つ～3つ くらの文でまとめる。 <表現する> 相手にわかりやすく伝 えるために、いろい ろな表現方法(絵や文) を使い発表する。
主な使用図書	「学研の図鑑 動物」 (学研教育出版)	「どうぶつのからだ」 (偕成社) 「科学のアルバム」 (あかね書房) 「ほんのおおきさ」 (学研教育出版)	「体験取材！世界の国 ぐに」(ポプラ社) 「世界各地のくらし」 (ポプラ社)	「マーク・記号の大百 科」(学習研究社) 「記号の大辞典」 (くもん出版) 「ポケットポプラディ ア マーク・記号」	児童が今年度読んだ本
課題・改善策	同じ図鑑を使った方 が指導しやすいので、1 冊の図鑑の必要な部分 を児童数分印刷して使 用した。	生き物の特徴を見つ けにくい本があったの で、使用する本を精選す る。	資料となる本の数が 多く充実していたが、人 気のある国については もっとあってもよい。	資料の数が限られて いるので、学習形態や資 料提示の工夫が必要。	本の内容をわかりや すく伝えたり自分の考 えをまとめたりする力 の育成が大切である。

第4学年 年間指導計画（単元名、身につけさせたい力、主な使用図書、課題・改善策等）

月	5月	6月	11月	12月	1月
単元名	(国語) 図書館へ行こう 分類をもとに本を見つけよう	(総合) ともに生きる (高齢者の福祉)	(国語) 「不思議図かん」を作ろう	(総合) ともに生きる (障害をもつ人の福祉)	(社会) 特色ある地域と人々の暮らし
身につけさせたい力	<見通しを持つ> たくさんの図書の中から、分類番号を手がかりにして目的の図書を探ることができる。	<課題の設定> 関心のあることがらをもとに、課題を決めることができる。 <課題の解決> 集めた資料の中から、自分の課題を解決するために必要な情報を取り出すことができる。	<課題の解決> 集めた資料の自分の課題を解決するために必要な情報を取り出すことができ、要点をまとめることができる。 <表現する> 言葉、絵、図などを使って相手にわかりやすいように表現することができる。	<考える> 資料で調べたことをもとに、自分の考えやその理由を書くことができる。	<考える> 資料で調べたことをもとに、自分の考えやその理由を書くことができる。 <表現する> 考えや意見をまとめる方法を選んで表現することができる。
主な使用図書	図書室の本	『バリアフリー』ってなんだろう」(学習研究社) 「ユニバーサルデザインみんなの暮らしを便利に」(あかね書房)	「ポプラディア」 「学研の図鑑」 「小学館の図鑑」	「点字って、なに」(岩崎書店) 「はたらく犬たち」(ポプラ社)	『上毛カルタ』で見つける群馬のすがた」(群馬県) 「関東平野に生きる伝統産業」(太平出版社)
課題・改善策	今後も、必要な図書資料をさがす場合は、分類番号を意識させる。	課題によっては、解決するための資料が不足していたので、課題の設定方法を工夫する必要がある。	専門的な用語や難しい言葉を使用している本もあるので、資料の選び方を継続指導していく。	自分の考えをうまく表現できない子どもがいるので、自分の考えをまとめる機会を意図的につくる。	上毛カルタの本は、冊数もそろっていて、子どもが課題を設定するとき役に立った。

第5学年 年間指導計画（単元名、身につけさせたい力、主な使用図書、課題・改善策等）

月	5・6月	7月	11月	12月	2月
単元名	(総合) いきいき自然体験 (倉渕自然体験活動)	(国語) 新聞記事を書いて、言葉 と事実について考えよ う	(社会) 工業生産を支える	(国語) 「図書すいせん会」を開こ う	(国語) 資料をくふうして効果 的に発表しよう
身につけさせたい力	〈考える〉 自分の考え感想を事実 や意見を引用しながら 150字程度にまとめ る。 〈表現する〉 相手にわかりやすく伝 えるために、表現方法を 工夫し、発表する。	〈考える〉 事実や意見を引用しな がら自分の考えを15 0時程度にまとめる。	〈課題の解決〉 課題にあった情報から 必要な部分だけを抜き 出し、複数の情報を比 較しながら要点をまと める。 〈表現する〉 相手にわかりやすく伝 えるために、表現方法 や構成を工夫し発表す る。	〈考える〉 自分の考え感想を事実や 意見を引用しながら15 0字程度にまとめる。 〈表現する〉 相手にわかりやすく伝え るために、表現方法を工夫 し、発表する。 〈振り返る〉 課題の設定、情報収集の仕 方、まとめた内容、伝達の 方法について評価する。	〈課題の解決〉 出典や引用を明らかに して記録する。 〈考える〉 自分の考え感想を事実 や意見を引用しながら 150字程度にまとめ る。 〈表現する〉 相手にわかりやすく伝 えるために、表現方法を 工夫し、発表する。
主な使用図書	「群馬の自然」 (群馬の自然研究会) 「群馬の昆虫」 (上毛新聞社)	「朝日小学生新聞」 「毎日小学生新聞」	「町工場の底力」 (かもがわ出版) 「世界にはこる日本の 町工場」(文溪堂)	「ハッピーバースデー」 (金の星社) 「グレッグのダメ日記」 (ポプラ社) 「黒魔女さんが通る」 (講談社)	「学研まんがひみつシ リーズ」 「ポプラディア」
課題・改善策	群馬の倉渕地方に限 定した動植物の図鑑は 少ない。資料が乏しい。	事前に定期的に新聞 を扱った宿題を出すな どして、児童の興味・関 心を高めておくとよか った。	一人一冊図書資料を 必要としたため、公立 図書館からの貸し出し を利用した。	個々の興味・関心に応じ て本を選び、ポップ・帯紙・ ポスターなどを作成した。 文学作品を選ばせるよう にした。	プレゼンテーション・ ソフトを使ってまとめ させたが、出典や引用の 示し方を指導しておく と良かった。

第6学年 年間指導計画（単元名、身につけさせたい力、主な使用図書、課題・改善策等）

月	10月	10月	11月	1月	2月
単元名	(総合) 鎌倉について調べよう	(国語) 意見を出し合おう 未来の自動車	(社会) 長く続いた戦争と人々の暮らし	(国語) 興味ある人物を紹介しよう 「伊能忠敬」	(社会) 日本とつながりの深い国々
身につけさせたい力	<課題の解決> 課題にあった情報から必要な部分だけを抜き出し、複数の情報を比較しながら要点をまとめる。 <表現する> 相手にわかりやすく伝えるために、表現方法や構成を工夫し、発表する。	<表現する> 相手にわかりやすく伝えるために、表現方法や構成を工夫し、発表する。 <振り返る> 課題の設定、情報収集の仕方、まとめた内容、伝達の方法について評価する。	<課題の解決> 課題にあった情報から必要な部分だけを抜き出し、複数の情報を比較しながら要点をまとめる。 <考える> 事実と意見を区別しながら、自分の考えや感想を指定された字数でまとめる。	<課題の解決> 課題にあった情報から必要な部分だけを抜き出し、複数の情報を比較しながら要点をまとめる。 <考える> 事実と意見を区別しながら、自分の考えや感想を指定された字数でまとめる。	<課題の解決> 課題にあった情報から必要な部分だけを抜き出し、複数の情報を比較しながら要点をまとめる。 <考える> 事実と意見を区別しながら、自分の考えや感想を指定された字数でまとめる。
主な使用図書	「高崎市学校連携パック」校外学習（鎌倉） 「鎌倉・横浜がわかる辞典」	「朝日ジュニア学習年鑑」（朝日新聞社） 「ポプラディア情報館自動車」（ポプラ社） 「日本の自動車工業環境にやさしい自動車づくり」（岩波書店）	「語り伝えるアジア・太平洋戦争」（新日本出版） 「目でみる戦争とくらし百科」（日本図書センター） 「せんそうってなんだったの？」（学研）	「この人を見よ！歴史を作った人々伝」（ポプラ社）全30巻	「世界の国々」（帝国書院） 「世界各地のくらし」（ポプラ社） 「体験取材！世界の国ぐに」（ポプラ社）
課題・改善策	内容が難しい本があったので、精選する。	環境・安全・便利などの観点に沿った新しい資料があるとよい。	課題解決に必要な資料を準備するのが難しい。複数の図書館から資料を集めた。	国語の読み取る力を身につけるために、漫画の伝記ではなく、文章表記のものを選ばせる。	